

授業科目	成人看護学概論	担当講師	専任教員 非常勤講師（保健師）
開講年次	1年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	成人期にある対象の特徴を身体面・心理面・社会的側面から理解する。 成人保健の動向について理解する。 成人各期の健康問題を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「成人看護学総論」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 成人の特徴	6	1 生涯発達から見た大人の身体的・心理的・社会的特徴 1) 青年期：大人になること 2) 壮年期・中年期：大人であること 3) 向老期：老年期への移行 2 エリクソン・ハヴィガーストによる発達理論	
2. 成人期の生活	2	1 働いて生活を営むこと 2 家族機能、家族形態	
3. 成人への看護アプローチの基本	2	1 アンドラゴジー 2 コンプライアンス、ノンコンプライアンス 3 アドヒアランス	
4. ヘルスプロモーションと看護	10	1 地域社会・職業におけるヘルスプロモーション 2 健康増進のための環境づくり 1) 健康日本21 2) 健康増進法 3) 特定健康診査・特定保健指導 4) 労働基準法・労働安全衛生法 5) がん対策基本法	保健師による講義  「国民衛生の動向」を参考図書とする。
5. 成人各期の健康問題と看護	8	1 メタボリックシンドローム 2 喫煙 3 アルコール 4 性感染症（HIV・AIDS） 5 更年期障害	
6. 統計からみた成人期にある人の健康特性	2	1 年齢3区分別人口構成割合 2 死因順位 3 性・部位別にみた悪性新生物の年齢調整死亡率 4 有訴者率・通院者率	

授業科目	成人看護学方法論 I	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・15時間
科目目標	手術療法、化学療法、放射線療法、集中治療、人工呼吸療法について、その目的と援助の実際について理解する。		
使用テキスト	新体系看護学全書「臨床看護総論」メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「周術期看護」メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「基礎看護技術Ⅱ」メヂカルフレンド社 「根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術」医学書院		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 周手術期とは	2	1 周手術期の概念 2 周手術期にある患者と家族 3 周手術期にある人の看護	校内実習
2. 手術療法を受ける患者の看護	8	1 手術前の全身状態のアセスメント 2 手術を受ける患者の心理状態と看護 3 術前オリエンテーションの目的とその内容 4 手術に向けた身体準備 5 手術室の環境 6 手術室看護師の役割 7 帰室直後の観察項目 8 術後合併症に対する予防策と発症時の対応 1) 早期離床の促進 安静療法が患者に及ぼす弊害との関連性 2) 疼痛対策 3) 感染対策（創傷管理） 4) ドレーン管理 9 ムーアの生体侵襲理論	
3. 化学療法・放射線療法を受ける患者の看護	2	1 化学療法と放射線療法の特徴 2 化学療法を受ける患者への看護 副作用出現時の対応 3 放射線療法を受ける患者への看護 有害事象出現時の対応	
4. 集中治療と看護	1	1 集中治療が患者に及ぼす弊害 2 集中治療を受ける患者への看護	
5. 人工呼吸療法と看護	1	1 人工呼吸療法が患者に及ぼす弊害 2 人工呼吸療法を受ける患者への看護	
	1	試験	

授業科目	成人看護学方法論Ⅱ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	急性期にある成人患者の特徴、および疾病・障害の状態に応じた援助方法を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「成人看護学総論」医学書院 系統看護学講座「消化器」医学書院 系統看護学講座「循環器」医学書院 新体系看護学全書「周術期看護」メヂカルフレンド社 新体系看護学全書「臨床看護総論」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 急性期とは	2	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 急性期の概念</li> <li>2 急性期にある患者の身体的・心理的・社会的特徴</li> <li>3 急性期看護</li> </ol>	
2. 生命の危機的状態にある消化器疾患患者の看護	14	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 胃がんの治療を受ける患者への看護 胃切除術後の食支援</li> <li>2 大腸がんの治療を受ける患者への看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 人工肛門造設術を受ける患者への支援</li> <li>2) ストーマケアサイトマーキングの条件</li> <li>3) ストーマケアの方法</li> </ol> </li> <li>3 腸閉塞患者への看護 腸閉塞の種類に応じた看護</li> <li>4 肝硬変患者への看護 身体の変化とその看護</li> <li>5 胆石               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 胆石発作の予防に対する看護</li> <li>2) 胆嚢摘出後の患者の看護</li> </ol> </li> <li>6 急性膵炎、慢性膵炎の患者の看護 急性膵炎と慢性膵炎の特徴に応じた看護</li> </ol>	解剖整理、病態生理、症状と看護を関連付ける
3. 生命の危機的状態にある循環器疾患患者の看護	14	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 虚血性心疾患患者の看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 心筋梗塞と狭心症の特徴に応じた看護</li> <li>2) 心臓カテーテル検査を受ける患者の看護</li> <li>3) 合併症に対する看護</li> <li>4) 心臓リハビリテーションの目的と看護師の役割</li> </ol> </li> <li>2 心不全患者の看護 身体の変化および検査に対する看護</li> <li>3 不整脈患者へ看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 致死性不整脈に対する対応</li> <li>3) ペースメーカー植え込み術後の看護</li> </ol> </li> </ol>	解剖整理、病態生理、症状と看護を関連付ける

授業科目	成人看護学方法論Ⅲ	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	慢性期にある成人患者の特徴、および疾病・障害の状態に応じた援助方法を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「成人看護学総論」医学書院 系統看護学講座「内分泌・代謝」医学書院 系統看護学講座「腎・泌尿器」医学書院 系統看護学講座「アレルギー 膠原病 感染症」医学書院 新体系看護学全書「臨床看護総論」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 慢性期とは	2	1 慢性期の概念 2 慢性疾患の特性 3 慢性期にある患者の心理・社会的特徴 1) 病みの軌跡理論 2) 疾病の受容過程 4 慢性期にある患者の家族	
2. 自己管理を必要とする成人患者の理解と援助方法	4	1 セルフケアマネジメント 2 エンパワメント 3 健康信念モデル 4 変化のステージモデル 5 自己効力理論	
3. 対象の自立・自律を促すための学習支援技術の方法	8	1 看護の中に含まれる指導 1) 対象のニーズの把握（看護理論の活用） 2) 学習支援の目標 3) 教材 2 対象のニーズに応じた指導計画立案、実施	演習
4. 疾病コントロールを必要とする患者	16	1 内分泌疾患患者の看護 1) バセドウ病 甲状腺切除術を受ける患者の看護 2) クッシング症候群 3) 甲状腺機能低下症 甲状腺ホルモン剤服用中の看護 4) 副甲状腺機能亢進症 高カルシウム血症予防のための看護 2 代謝疾患患者の看護 1) 糖尿病 血糖コントロールするための看護 2) 痛風 尿酸値コントロールするための看護	

		<ul style="list-style-type: none"><li>3 腎機能障害患者の看護<ul style="list-style-type: none"><li>1) ネフローゼ症候群患者の看護</li><li>2) 腎不全疾患患者の看護<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 食事療法への支援</li><li>(2) 活動制限への支援</li><li>(3) 血液透析を受ける患者の看護</li><li>(4) 腹膜透析を受ける患者の看護</li></ul></li></ul></li><li>4 尿路結石症患者の看護 体外衝撃波結石破碎術を受ける患者の看護</li><li>5 膠原病患者の看護<ul style="list-style-type: none"><li>1) ベーチェット病</li><li>2) 全身性エリテマトーデス</li></ul></li></ul>	
--	--	--	--

授業科目	成人看護学方法論IV	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	回復期にある成人患者の特徴、および疾病・障害の状態に応じた援助方法を理解する。		
使用テキスト	系統看護学講座「成人看護学総論」医学書院 系統看護学講座「呼吸器」医学書院 系統看護学講座「脳・神経」医学書院 系統看護学講座「運動器」医学書院 新体系看護学全書「臨床看護総論」メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 回復期とは	2	1 回復期の概念 2 リハビリテーション看護の概念 1) 回復期とリハビリテーション 2) リハビリテーションの場とチーム医療	
2. 障害がある成人患者の看護	2	1 障害がある人の人権に関わる考え方 2 障害を負った人の心理・社会的特徴と看護 1) 自己概念、ボディイメージ 2) コーアの障害への心理過程 3) 障害がある人への社会資源	
3. 呼吸障害がある患者の看護の実際	8	1 肺結核患者の看護 2 慢性閉塞性肺疾患患者の看護 酸素療法を受ける患者の看護 3 肺がん患者の看護 気管支鏡検査時の患者への看護 4 自然気胸患者の看護 5 気管支喘息患者の看護	
4. 運動障害がある患者の看護の実際	8	1 骨折患者の看護 2 変形性関節症患者の看護 3 脊髄損傷患者の看護 4 関節リウマチ患者の看護 5 腰椎椎間板ヘルニア患者の看護 6 骨粗鬆症患者の看護	
5. 脳・神経障害がある患者の看護の実際	10	1 脳機能障害がある患者の回復過程における看護 2 頭蓋内圧亢進の予防に対する管理 3 くも膜下出血患者の看護 4 水頭症患者の看護 5 脳梗塞患者の看護 6 脳腫瘍患者の看護 7 パーキンソン病患者の看護	

授業科目	成人看護学方法論V	担当講師	専任教員
開講年次	2年次	単位数・時間数	1単位・30時間
科目目標	終末期にある成人患者の特徴、および疾病・障害の状態に応じた援助方法を理解する。		
使用テキスト	新体系看護学全書「終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア」 メヂカルフレンド社		
評価方法	試験、レポートにより総合的に評価する。		
単元	時間数	学習内容	備考
1. 終末期とは	2	1 死の概念 2 終末期の概念 3 終末期医療の現状	
2. 終末期にある患者への看護	4	1 終末期にある患者の苦痛 2 終末期にある患者への看護 3 終末期における倫理的課題	
3. 終末期患者を抱える家族への支援	2	1 家族の苦悩・苦痛 2 看護師の役割 3 悲嘆と家族ケア	
4. 臨死期の看護	2	1 臨死期の理解 2 臨死期における看護の役割 3 臨死期の症状マネジメント 4 臨終前後の看護	
5. 緩和ケアの実際	6	1 緩和ケアの定義 2 痛みとは 3 グリーフワーク 4 事例紹介	がん性疼痛看護認定看護師
6. 緩和ケア、癒しの看護を考える	10	1 グループワーク：事例患者のケアを考える 2 発表	演習
7. がん患者の看護	4	1 女性生殖器疾患患者の看護 1) 乳がん患者の看護 2) 子宮がん患者の看護 2 男性生殖器疾患患者の看護 前立腺がん患者の看護 3 血液・造血器疾患患者の看護 1) 白血病患者の看護 2) 貧血、易感染状態、出血傾向にある患者の看護	